

日立アロカメディカル
超音波診断装置「ARIETTA 70, 60」の臨床機能を大幅に強化
(2015/11/10)

1. Shear Wave Measurement (SWM)

Elastographyの新機能であるShear Wave Measurement(以下, SWM)が肝臓向けに開発され, ARIETTA 70に搭載される。SWMは組織の硬さ情報であるせん断波の伝播速度(V_s), 信頼性指標(V_sN)等を計測でき, 再現性と信頼性の高い結果を得ることができる。

Real-time Tissue ElastographyによるLF Index(Liver Fibrosis Index)とSWMの双方を用いることにより, 非侵襲的で多角的な肝臓評価へのアプローチが可能となる。

2. 3D Sim-Navigator

Real-time Virtual Sonography(RVS)の新しいシミュレーション機能。RVSでターゲット描出のナビゲーションをしながら, 穿刺ラインのシミュレーションが可能。CTなどのボリュームデータから作成した3D立体ボディマーク機能を利用することにより, 複数本穿刺の位置をリアルタイムに三次元上で把握することができる。

3. Advanced Cardiac Report

ASE(アメリカ心エコー図学会)に準拠した計測パッケージを採用し, シームレスに計測が可能となった。また, レポート(DICOM * 7 PDF)も作成可能になり, 心エコー検査のWork flowが大幅に改善される。



ARIETTA 70, 60